

患者さんと中央市民病院をつなぐ情報誌

SHIOKAZE Magazine

し / お / か / ぜ / 通 / 信

Vol.
58

2024
AUTUMN



P1-4 助産師インタビュー

P5-6 放射線治療センター

P7 食事に関するお悩み、
相談してみませんか？

P8 楽しく学べる膠原病・
リウマチ教室

P9 人生会議
(アドバンス・ケア・プランニング)

P10 開設100周年記念展示を
設置しました

P11 ご寄付のお願い

輝くいのちの誕生に寄り添う喜び 元気な産声を未来へー

妊娠・出産・育児がより良いものとなるよう、
妊産婦さんと赤ちゃんにきめ細やかなケアやサポートを行う助産師。
当院における助産師の取り組みや思いを紹介します。



産婦人科病棟主任
助産師
Sさん

Q 助産師になろうと思ったきっかけは
なんですか？

看 護師を目指して看護学校に通っていた学生時代に、義姉の出産に立ち会い、初めて触れた助産師の仕事に感動したことがきっかけです。「新しいいのちの誕生を支える、なんてすばらしい職業なんだろう」と憧れを強くし、看護学校を卒業後に助産師学校へ進学しました。(Sさん)



母 が看護師で、長く産婦人科クリニックに勤めており、幼い頃からお産の話を知っていたり、助産師の資格について教わったりしていました。クリニックで働く母のかっこいい姿にも影響され、「将来は助産師になって、産婦人科で働きたい」と夢を描くようになりました。(Iさん)



Q 現在のお仕事の内容について
教えてください。

正 常経過や合併症のある妊産婦さんに、産前・産後のケアや治療支援、お産の介助を行っています。また、妊娠中に起こる身体の不快な症状やお悩みなどをうかがう「妊婦相談」も実施し、出産や育児に向けて心身の状態を整えるお手伝いをしています。(Iさん)



助産師
Iさん

Q やりがいを感じることも、また
大変だと思うことはありますか？

よ り良い出産に向け支援する過程では困難もありますが、妊婦さんと共に乗り越え、元気な産声が聞けた時は、がんばってよかったと思います。また、私たちのケアにご満足いただき、楽しい育児につながっていたり、次の出産でも当院を選んでいただけたらうれしいです。(Sさん)



Q 患者さんと接する中で心がけていることはありますか？

母 児の安全に最善を尽くしながら、妊婦さんやご家族のご希望を可能な限り尊重するよう心がけています。そのために必要な最新の医療情報は勉強会などで積極的に学び、緊急時対応の模擬訓練も定期的に行っています。(Sさん)



当 院には急変が起こりやすい妊婦さんが多く、日本語での交流が難しい外国人妊婦さんも増えています。そのような中でも心身の小さな変化や訴えを見逃さず、最良なケアの提供を心がけ、満足度の高いお産や育児につながるよう努めています。(Iさん)

Q どのような助産師になりたいですか？

当 院で生まれた赤ちゃんが親となる時に、当院での出産を希望していただけるよう、世代を超えて選ばれる産婦人科病棟を目指して研鑽を積みたいです。また、出産や育児を望む人が増えるような支援をしていきたいと思います。(Sさん)



知 識と技術のアップデートに励み、安心してケアを任せてもらえる助産師になることが一番の目標です。そして、妊産褥婦さんの個性を理解した上で思いに寄り添いながら、その人らしいお産や育児をサポートしていきたいです。(Iさん)

患者さんや市民に向けてメッセージをお願いします

日々の業務の中では、つらいことや大変だと感じることもあります。元気な産声をあげて生まれてくる赤ちゃんの姿に、それをほるかに超える喜びや勇気を与えてもらっています。助産師は本当に素晴らしい仕事だと、毎日実感しています。



助産師は赤ちゃんとお母さんの大切な命を預かる、とても大きな責任を伴う仕事です。その一方でやりがいを感じることも多く、「助産師になってよかった」と思える豊かな経験をたくさん積むことができます。



放射線治療装置(南館)と高線量率密封小線源装置

封小線源装置(本館)が更新されました

当院の放射線治療装置は本館Gブロック放射線治療センターに2台、南館1階に1台あります。今回は南館にある放射線治療装置1台とX線画像誘導装置を更新しました。

放射線治療装置(南館)

TrueBeam (株式会社バリアンメディカルシステムズ社製)



図1:南館リニアック(TrueBeam) 5.0mmMLC, ExacTracDynamic併設

TrueBeamは、機械精度が高く信頼性のある放射線治療装置です。位置補正が回転方向を加えた6軸での補正が可能であり、高精度治療が可能です。FFFビーム(Flattening Filter Free beam)を使うことで、放射線の照射時間が約半分に短縮できます。これにより、呼吸性移動を伴う治療部位でも、正常組織への影響を減らし、患者さんの負担を軽くすることができます。

ExacTracDynamic システム(BRAINLAB社製)

ExacTracDynamic システムは、放射線治療室内にX線撮像装置を設置し、そのX線画像を用いて6軸で高精度に位置補正できます。従来は赤外線CameraとX線撮像により位置補正を行っていましたが、ExacTracDynamicは新たに4D Thermal Surface Cameraを導入し、X線画像誘導と熱分布による体表面誘導を組み合わせ、正確な位置補正が可能です。(図2,3)



図2: ExacTracDynamicシステム



図3: 4Dサーマルサーフェスカメライメージ

治療部位によっては、従来の体表面に書かれていたマークを減らすことが可能です。また、X線自動撮影機能により、治療中にX線画像を照合し、許容範囲を超える位置誤差が見つかれば、治療の中断が可能となり、より安全で正確な治療が行えるようになりました。(図4)

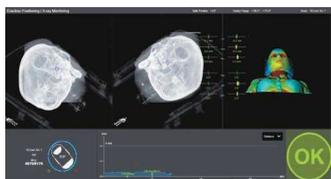


図4:X線自動撮影機能

本館の高線量率密封小線源装置の更新を行い、2024年6月より稼働しましたので、ご紹介いたします。

高線量率密封小線源装置(本館)

高線量率密封小線源治療装置 フレキシトロンHDR (千代田テクノ)

フレキシトロンHDRは、体の内側から放射線治療を行う装置です。装置に格納している放射線の線源がチューブを経由して、患者さんの体内に停留して、照射を行います(図1)。

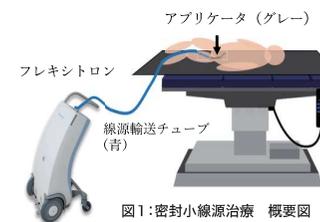


図1:密封小線源治療 概要図

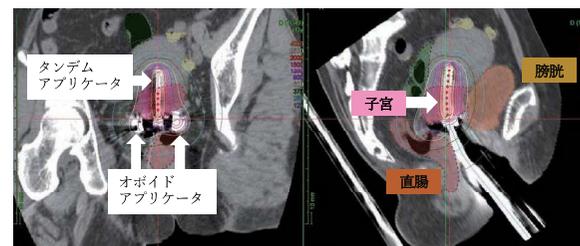


図2:CT画像

●装置の特徴

日々の品質管理を実施することで、 $\pm 0.5\text{mm}$ と高い位置精度で線源移送が可能であり、目的の組織にピンポイントで照射を行うことが可能となりました。

●アプリケータについて

近年、大きな腫瘍や不整形な腫瘍に対して、通常の腔内照射では腫瘍全体に十分に線量を投与できないことが明らかになってきました。そのような症例に対しては、「腔内照射」とニードルを使用した「組織内照射」を組み合わせた組織内照射併用腔内照射が、ガイドラインで推奨されています。今回、組織内照射併用腔内照射に対応するため、新たにアプリケータを導入し、準備を進めています(図3)。



図3:アプリケータ

相談してみませんか？

食事に関するお悩み、



栄養相談というと、制限やカロリー計算ばかりの堅苦しいイメージがあるかもしれませんが、当院の栄養相談は患者さん一人ひとりの状況に寄り添った、柔軟なサポートを心がけています。

当院では、**管理栄養士**による個別栄養相談を平日毎日実施しています。相談内容は以下のように多岐にわたります。

- ・糖尿病、心不全、腎臓病などの食事療法
- ・嚥下機能低下による食事摂取困難
- ・がん治療の副作用による食欲不振
- ・手術後の消化器症状による食事量減少



特に「食事が摂れない」というお悩みが全体の4分の1を占め、がん治療中の方からの相談は3年前の1.5倍に増加しています。

食生活は十人十色です。管理栄養士はできるだけ患者さんそれぞれの状況やお悩み・お困りごとを伺いながら、食生活がより良くなるようサポートしたいと考えています。食事の摂り方で困っていて相談してみたいなという方は、ぜひ栄養相談をご利用下さい。**本館2階栄養相談室**で実施しますので、主治医の先生に栄養相談を受けたい旨をお伝え下さい。

2024年6月より、外来化学療法中の患者さんを対象に、化学療法センターで点滴治療中に栄養相談を受けられる体制を整えました。お困りの際は、スタッフにお声がけ下さい。

いきなり1対1での相談に行くのは勇気がでない!という方は、患者教室にいらしてみませんか。詳細は当院HPをご確認下さい。

● 外来日と費用

曜日：毎週月曜日～金曜日（祝祭日を除く）1回30分前後

費用：保険診療の対象となります。3割負担の方は初回780円、1割負担の方は初回260円

※別途外来診察料等がかかります。※2回目以降は費用が変更となる場合があります。

● 予約方法

- ・栄養相談は医師による予約が必要です。
- ・当院の主治医へご相談いただき、予約取得をご依頼ください。

楽しく学べる膠原病・リウマチ教室

膠原病・リウマチ内科の患者教室



膠原病・リウマチ内科は、令和6年度より、患者さん向けの院内講演会「楽しく学べる膠原病・リウマチ教室」を開催することとなりました。

膠原病・リウマチ性疾患は、長くつきあう病気が多く、症状も多彩で、病気のなりたちも複雑です。使用される薬剤には注意が必要なものもあります。一方で、新たな治療法がつつぎと開発され、患者さんの症状はより軽減し、副作用の少ない生活を送ることが可能となってきています。また、生活するうえでの注意点や、医療制度のしくみなど、知っておいた方がいいことがたくさんあります。

この教室では、医師と看護師・薬剤師などの**メディカルスタッフ**が、患者さんの生活に身近なテーマについて講演します。

第1回の膠原病・リウマチ教室は、6月27日に行われました。大村部長のオープニングのあと、岡副医長が関節リウマチの概要と治療を中心に、宮本看護師が生物学的製剤を中心に講演しました。今後も、皆さんの生活に役立つ教室をめざして、定期的を開催してまいります。



この患者教室は、予約不要で、参加費も無料です。ぜひ、お気軽にご参加ください。

次回開催情報

参加費無料 | 予約不要

第3回	2024年 12月12日(木)	膠原病とステロイド 医師 岡 秀樹	ステロイドと感染症 看護師 宮本 美香
第4回	2025年 2月27日(木)	乾癬とふしぶしの痛み 医師 志水 隼人	鎮痛薬:使用時の注意点 薬剤師 米谷 佳恵

●会場 中央市民病院 1階 講堂

●時間 13:00~13:45

人生会議

アドバンス・ケア・プランニング

皆さんは「人生会議（アドバンス・ケア・プランニング）」という言葉
を耳にしたことがありますか？「当院では現在ACPチームを立ち上げ
て、人生会議」を少しでも皆さんに知ってもらいながら、より良い医
療・ケアを提供できるように、看護師を中心に取り組み始めています。

「もしものとき」に備えて、あなたの大切にしていることや、どこでどの
ような医療やケアを望んでいるか等について、自分自身で考え、あな
たの信頼する人たちと話し合い共有することを人生会議といいます。

望まれたことではないですが、誰でも大きな怪我や病気をする可
能性があります。そんな「もしものとき」に備えて希望する医療やケ
アについて前もって家族や医師と相談し、共有しておくことが大事
です。この話し合い（=人生会議）はいつ頃から始めないといけない
というものではありません。年齢や健康状態に問わず、まず話し合
うことが大事です。日頃から考え、話し合っておくことで、もしもの
ときにあなたの希望が尊重された決定につながります。

■ 何を考え、何を話し合えばいいのでしょうか？

Step1: まずはあなたの「大切にしたいこと」を考えてください。



例えば、あなたの好きなこと、嫌なこと、人生の目標や大切にしていること、どんな医
療やケアを受けたいか、などです。少しでも長生きしたい、食べることはいつまでも楽し
みに感じていたい、なども大事な内容です。

Step2: 次に、ご自身のことをよく理解してくれている**信頼の**できる人は誰であるかを考えてく
ださい。



例えば、奥さんや旦那さん、子供や兄弟、親戚や友人などです。もちろん、医療従事者
や介護従事者でも大丈夫です。

Step3: 信頼できる人と話し合い、考えたことを伝えてみましょう。



命の危険が迫った状態になると、約70%の人が医療やケアなどを自分で決めたり、望
みを人に伝えたりすることができなくなると言われています。ですので、事前に話し合
い、伝えておくことで、そんな時にご家族やご友人が代わりに医療やケアについて難
しい判断をする重要な助けとなります。



当院では病棟、外来など皆様の手が届くところに人
生会議のパンフレットを配置しています。考えたこと・
話し合ったことをメモできるように工夫もしています。
少しでも気になった方がいらっしゃれば手に取り、一
度、目を通して頂けますと幸いです。

かわい かいち
神戸市立医療センター中央市民病院 救急科 河合 嘉一

記念式典・講演会を開催しました

開設100周年

神 戸市立医療センター中央市民病院は1924(大正13)年3月1日に市立神戸診療所(長田区)として開設以来、2024(令和6)年3月1日に**開設100周年**を迎えました。

この開設100周年を機に、2024(令和6)年7月14日(日)、神戸ポートピアホールにおいて、「神戸市立医療センター中央市民病院開設100周年記念式典・講演会」を開催しました。約400名にもものぼる皆様方にご参加いただき、記念すべき嘉節を祝いました。



病 院1階正面玄関をに入って左手Gブロックに到る通路に、「**開設100周年記念展示**」を設置しました。当院のこれまで、現在、これからをテーマに作成しております。どなたでもご自由にご覧いただけますので、是非ご覧ください。



また、100周年記念サイトには100周年記念誌を掲載しておりますので、是非ご覧ください。

→ **100周年記念サイトアドレス** <https://chuo.kcho.jp/100thaniv/>



ご寄付のお願い

当院はこれからも地域の皆様へより良質で安全な医療を提供していきたく考えています。皆様には寄付という形で当院の運営に共に携わっていただきたいと思っておりますので、金額の多寡にかかわらずご支援を賜りますようお願い申し上げます。

きはら やすき
神戸市立医療センター中央市民病院 病院長 木原 康樹

(令和6年4月～令和6年7月)

寄付をいただいた皆様

多くの励ましやご支援をありがとうございました。

寄付をいただきました方のお名前を、感謝の気持ちとともにここに掲載させていただきます。

井口 君子 様	小川 泰子 様	林 国勝 様	合田 ルミ子 様	寺澤 俊哉 様
若井 美枝 様	藤本 正子 様	石原 美智恵 様	高島 成光 様	白髭 文代 様

医療法人社団 直太会 母と子の上田病院 様	医療法人社団三方会理事長 田中裕也 様
株式会社ジャヴァ 代表取締役 細川かおる 様	株式会社 慶 様
朋の会 様	日清鋼業株式会社 様

(順不同掲載)

インターネットでのお申込みが可能になりました

インターネットでお申し込みの場合は、決済方法をクレジットカードまたは銀行振り込みいずれかでお選びいただけます。詳しくは当院ホームページまたは下記QRコードよりご確認ください。

■ 寄付受納書の発行について

寄付受納書は、口座への入金を確認後に発行させていただきます。クレジットカード決済をお申込みの場合、クレジットカード会社から当機構への入金を確認した日付以降となり、通常2～3か月を要しますので、あらかじめご了承ください。

■ ご利用いただけるクレジットカード

右のマークがついているクレジットカードでお支払いいただけます。

※お支払い回数は、1回払いのみとなります。

※決済後のご変更・ご返金等は原則としてできません。



VISA



MASTER



JCB



AMERICAN EXPRESS



Diners Club

お問い合わせ

神戸市立医療センター中央市民病院
事務局経営企画課
〒650-0047
神戸市中央区港島南町2丁目1番地の1

TEL: 078-302-4321
FAX: 078-302-7537
E-mail: kifu@kcho.jp



インターネットでの寄付申込みが可能になりました
申込み可能なようになりました
申込みの24時間前までに

寄付金で購入いたしました



ヘパフィルター



外来用の椅子



小児病棟のおもちゃ



地方独立行政法人 神戸市民病院機構
神戸市立医療センター中央市民病院
KOBE CITY HOSPITAL ORGANIZATION

〒650-0047 神戸市中央区港島南町2丁目1-1
TEL: 078-302-4321

http://chuo.kcho.jp

